

# 宇都宮市 電子納品運用に関するガイドライン〔営繕編〕 第4版更新版（平成27年4月）更新概要

## 1. 適用要領・基準等の改定

国土交通省策定の電子納品関連要領の一部が改定・策定されたことを受け、宇都宮市が準拠する要領・基準を以下のとおり更新しました。

- ・ 建築設計業務等電子納品要領（平成24年版）                      平成14年11月 ⇒ 平成24年4月
- ・ 営繕工事電子納品要領（平成24年版）                              平成14年11月 ⇒ 平成24年4月

また、栃木県の要領等については、準用している要領が異なることから、削除しました。

## 2. 電子納品媒体等

- ・ 原則、CD-Rでの納品であるが、受発注者協議によりDVD-Rの納品を認めることとしました。
- ・ 上記により、ガイドラインにおける納品する媒体の表現を「電子媒体」に変更しました。
- ・ 電子媒体の正副の区分を削除しました。
- ・ 電子成果品の保管を検査室より発注課へ変更し、データの保存を検査室より土木管理課へと変更しました。

## 3. 図面データの仕様

- ・ SXFの仕様をVer.3.1レベル2としました。

(参考) CADにおけるレベルやバージョンの解説

レベル1 画面（紙）上で、図面表示が正確に再現できるレベル

レベル2 2次元CAD製図データの要求を十分満たし、再利用時における使い勝手が確保され、電子納品における要求を満たすレベル

レベル3 STEP/AP202における製図機能を全て満たすレベル

レベル4 STEP/AP202の製図機能だけでなく、図面に表される建設分野特有の意味合いも属性情報として付け加え、図面データの高度利用を目指すレベル

Ver1.0 ファイルの拡張子は、SXF1種類のみ。

（のちに、仕様総称のSXFとの混同を避けるために廃止される。）

仕様のには、バージョン2.0ほぼ同じだが、既定義ハッチングが存在しない。

Ver2.0 2次元CADデータが再利用性をもって交換できる仕様

ファイルの拡張子として、SFCとP21の2種類が取り決められた。

既定義ハッチングとして、馬踏みと45度重ねあじろが定義された。

共通ライブラリに、レベル1へのダウンコンバート機能が追加された。

Ver3.0 属性付加機構が採用され、図形に対して属性やターゲットを設定することが可能。属性情報は、XML形式の別ファイル（拡張子SAF）として保存。その他、図面表題欄、背景色、複数のラスタ配置、等高線の単位、Area\_controlなど。

Ver3.1 新しいフィーチャー（図形）として、クワッド曲線、弧長寸法線が追加。

図形の表示順、属性付加機構の改定など。